

太宰府の文化財

445

祝 奈良市友好都市提携20周年 奈良時代の太宰府

奈良時代を迎える直前、遣唐使として派遣された粟田真人らにより、唐の文物や文化、政治など先進の情

報が国内にもたらされました。そして、和銅元(708)年に唐の都長安に倣った本格的な都城となる平城京への遷都の詔が発せられます。遷都には、さらに2年を要し和銅3(710)年に現在の奈良市・大和郡山市

に位置する平城京へ遷都され、国際色豊かな奈良時代の幕が開けました。

平城京は、幅73mの朱雀大路(長安の約2分の1)を中心に碁盤の目の街並み(条坊制)が作られ、北端中央に天皇の居所(内裏)や国の政治、儀式を執り行う大極殿などの施設を持つ平城宮が配置され、東大寺など多

くの寺院も建立されました。この平城京の造営に大きな影響を与えた粟田真人は、平城京への遷都の詔が発せられた和銅元(708)年に大宰帥に任命され、新たな大宰府の造営に携わり、平城京と同様の碁盤の目の街並みを持つ本格的な都城(大宰府条坊)となった大宰府が生まれました。

こうして造営された大宰府の街並みは、政治の中心となる大宰府政庁や役所街を北側の中央に配置し、そこから南に伸びる幅36mの朱雀大路(平城京の約2分の1)が敷設され、朱雀大路を中心に街並みが整備され

ていきました。この街並みの中には戒壇院が置かれた観世音寺や般若寺などの寺院が建立されたほか、ほぼ中央に外国使節を迎える迎賓館である客館が整備され、地方最大の官衙となります。そして、大宰府の長官である帥をはじめとした多くの役人が奈良から大宰府に赴任し、平城京で花開いた奈良の文化を大宰府へ伝え、「大君の遠の朝廷」(『万葉集』)や「天下之一都会」(『続日本紀』)と記されるほど華やかな街となりました。

奈良時代の太宰府の街のようすは、平城京に比べ規模は小さいもののよく似た街並みの中を、奈良から赴任した多くの役人が往来し、奈良から伝えられた文化に満ち溢れていたのではないのでしょうか。言わば小さな平城京で、奈良そのものだったことでしょう。

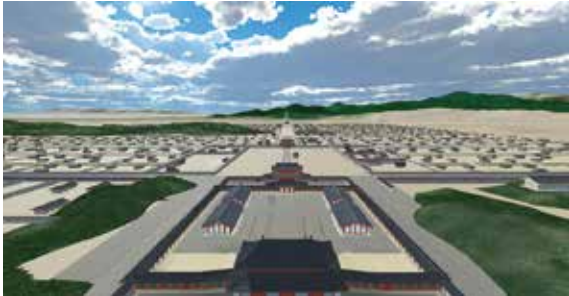
文化財課 沖田 正大



平城京復元模型中央部
(奈良市役所蔵)



復元された平城京の大極殿
(画像提供・奈良市役所)



大宰府条坊復元画像(政庁北側からの俯瞰図)



しまろくん
©奈良市観光協会

編集/太宰府市総務部経営企画課: 〒818-0198
☎092(921)2121 FAX(921)1601

太宰府市観世音寺一丁目1番1号
✉ keiei-kikaku@city.dazaifu.lg.jp

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

太宰府市公式SNSの
フォローをお願いします!



広報だざいふ 2022.6.1 (令和4年)